

令和2年度年4月1日現在 人口 2,702人 男 1,330人 女1,372人 世帯数 1,060戸



新村卓 村檜町自治会長

地域は家族。地域のコミュニティを大切に。

村檜町自治会長に選出された新村卓さんに自治会の運営方針についてお聞きしました。

一まず、防災について伺います。具体的にはどういったことでしょうか。

防災というのは、「人の命を守る」ことが一番だと思っています。

これまでも自治会主催で津波避難訓練や防災訓練を

やってきましたが、なお一層の安心を確保するために、食糧備蓄を進めています。

それぞれの家庭で3日分用意することが求められていますが、災害時に何があるかわかりませんから、自治会でも町民の安心確保のためにも、備えていきたいと思っています。

また、避難するためには、まず家庭内で被災しないことが肝心ですから、地震に備えて家具の固定は絶対に必要ですし、倒れる家具の側での就寝は避けることです。幸い、町民の皆さんは、災害への関心が高いので、家庭内でぜひ対策を取っていただきたいと思います。

一環境整備として、「ゴミ出し」と「墓地」の環境整備があげられていますが。

「ゴミ出し」は、とにかくルールを守ってもらいたいと思います。集積所近隣からの苦情が自治会に多く寄せられているのが実情です。それぞれの家庭で、決められた日に適正に出すことで、清潔な町の環境を維持できます。このため、ルール徹底のために講習会も実施していきたいと思っています。

また、「墓地管理」については、関係者で清掃を行ってきました。一方、大樹木の剪定が長年の懸案でしたので、

今年度予算化し、業者に依頼し実施したところです。

一次に「コンプライアンス(法令遵守)による自治会組織運営」があげられていますが、これはどのような内容ですか。

自治会は住民が会員となって構成している組織ですから、どの自治会でもその会員の住所、家族の名前、年齢などを記載した台帳を整備しています。

当然、大切な個人情報に記載した帳簿ですから、むやみに他へ提供することはできません。例えば、地域の電話帳を民間事業者が作成するに際して、自治会が名簿を提供することなどが該当するでしょう。

こうしたことを避けるために、自治会役員等への研修を進めています。

一会館の整備についてお願いします。

村檜会館は、平成6年の建設ですから、もう四半世紀経ち、いろいろな傷みが出ています。その都度補修してきましたが、今年度も集会室の音響設備を更新し、使いやすい会館を目指していきます。

一最後に、今後の抱負をお願いします。

村檜町は、「自助」「共助」ができる地域です。これは他の地域に負けないことで、日頃から、人と人との付き合いを大切にしているからだと思います。また、「陸の孤島」と呼ばれていた交通の不便さも一因かもしれません。

お年寄りが増え、バスなどの交通機関の先行きが懸念されるなか、一層みんなで助け合う地域コミュニティが重要になることは間違いありません。町民みんなが明るい、住みよい村檜の町づくりのために、スタッフともども頑張っていきます。

5月の主な自治会活動



5/16 自治会総会(書面決議)



5/17 ポンプ点検



5/21 ふれあい花壇植替え



5/31 戦没者慰霊平和祈念式



写真は、いずれも5月20日(水)午後5時30分(もえるごみ収集日前日)に撮影したもの

ゴミを正しく出しましょう



毎日発生するごみ。正しく出して、ご近所さんに迷惑のわからない、清潔で、住みよい街にしましょう。



<ごみ出しのルール>

- ごみ袋は、市指定の家庭用ごみ袋を使いましょう。
- ごみ・資源物を出す場所は、決められた集積所です。出す時間は、**収集日の朝8時30分**までです。**前日に出さない**ようにしましょう。
- ごみは、「もえるごみ」、「もえないごみ」、「プラスチック製容器包装」、「びん」「かん」「ペットボトル」、「特定品目」に分かれています。ごみは、決められた曜日に出しましょう。

日	月	火	水	木	金	土
	もえるごみ	プラマーク	月1回特定品目	もえるごみ	びん・かん・ペット もえないごみ	

※「びん・かん・ペットボトル」と「もえないごみ」は一週間毎です。

- もえるごみ、もえないごみは、長さ**60cm未満**です。
- 電化製品や木製家具などは、連絡ごみ(有料)です。※詳しくは、皆さんの家庭に配布された「ごみ・資源物の出し便利帳」をご覧ください。



わたしたち活動中

庄内ヨガ教室
代表 徳増喜代子さん

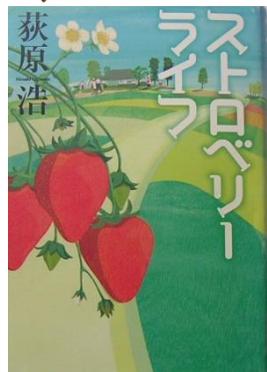
昭和63年(1988年)創設の長い歴史をもった活動団体です。現在の会員は、19人。指導に当たる青嶋良恵先生はとっても元気。「身体を動かすことはもちろん、楽しいおしゃべりで、いつも笑顔いっぱいの教室です。マスクづくりや野菜の知識など、会員相互の交流で得るところも多いですよ。」

- ▼会費 3千円/月
- ▼村櫛会館で 毎週金曜日 9:30~11:30



ユーカリ文庫 案内

荻原浩著「ストロベリーライフ」
毎日新聞出版(2016)



広告代理店を辞め、フリーになった恵介は、脳梗塞で父親が倒れたのを機に、実家静岡で家業のイチゴ栽培を手伝うはめに。「農家の息子に生まれたからといって、農作業について知識があるわけじゃない」恵介は、ランナー取り、摘果、芽欠きなど、苺づくりに悪戦苦闘。一方、農業にのめり込んでいく恵介に、妻の美月はおかんむり。全編、農業の難しさと喜び、家族への思いが詰まっている物語。読んだ後に、甘い、ほのかに酸っぱい恵介の「紅ほっぺ」を食べたくなる一冊です。

自治会の活動予定

6/9~20	6/21~30	7/1~10
9/回覧物配布 14/役員によるポンプ点検 19/役員会 20/自治会費等集金	21/自治会費等集金 22/回覧物配布 28/組長会	4/納涼祭実行委員会 5/津波避難訓練及び起震車体験▼ポンプ点検 6/部長会 8/回覧物配布